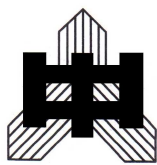
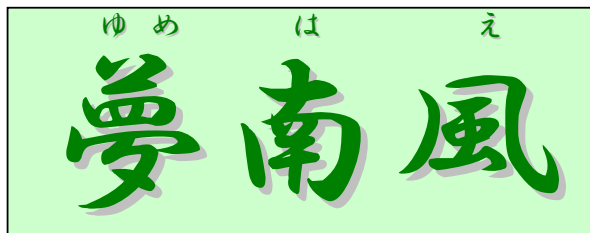


創立79周年



誠実 勉学 健康

学校便り4月号



令和7年4月25日発行
鹿児島市立河頭中学校
鹿児島市犬迫町1168
Tel 099-238-2663

生徒数 合計85名
1年31名, 2年24名, 3年30名

「ウェルビーイングの視点立った河頭中の教育」

校長 淵脇 広智

令和7年度がスタートし、3週間が過ぎようとしています。先日の学年PTA、PTA総会は、御多用中にも関わらず参加・協議していただき心から感謝申し上げます。保護者の皆様の協力的な様子を拝見して、学校に対する期待感をひしひしと感ずることでした。

令和7年度は、1年生31名、2年生24名、3年生30名、計85名、教職員16名でスタートしましたが、ここ数日の生徒たちの様子を見ていて、感じたことは、それぞれがいいスタートを切ったということです。全力で走り抜きたいという気持ちが強く伝わってきます。それぞれの学年らしさとやる気をひしひしと感ずります。1年生は、小学生から中学生へ、2年生は、中堅学年としてこれまで以上に学校の中核として、3年生は、最高学年としてそれぞれの転機となる時期です。新しい級友や担任・副担任の先生方と心機一転、成長してして行ってほしいと願っています。

本校の教育の目標は、「ふるさとを愛し、豊かな心とたくましい体を持ち、夢の実現に向けて自ら学び続ける生徒の育成」です。

具体的には、次のような生徒の姿が見られるようにするということです。

- 心身共に健やかで、明るい挨拶ができる生徒
- 深く考え、自ら判断し、適切に行動できる生徒
- 自らの可能性を見出すために、主体的に粘り強く学ぶ生徒
- 誠実で、自他を思いやることのできる生徒

本年度は、教育目標を達成するために、ウェルビーイングの視点を生かし、すべての生徒が夢や希望をもって活動できる学校づくりに努めてまいります。学校におけるウェルビーイングの要素には、幸福感・社会貢献意識・自己肯定感・自己実現（達成感、キャリア意識など）・心身の健康・安全・安心な環境などがあげられます。全ての教育活動を通して、生徒が何事にも一生懸命に取り組めるようにしていきたいと思っております。各御家庭、地域のみなさまにおかれましてもこれまで同様、河頭中の生徒を温かく見守り、励ましてくださいますようお願いいたします。

【5月の大型連休中に心がけてほしいこと】

例年、全国的に連休中の命に関わる事故が絶えることはありません。

- 命に関わる事故に遭遇しないように十分気を付ける。自分の命は自分で守る。
(熱中症予防、交通・水難事故防止、不審者への対応等)
- 不安になったり、困ったときは一人で悩まないで大人の人に相談する。

★ 24時間子供SOSダイヤル 0120-078-310

★ かごしま教育ホットライン24 0120-783-574

各種（生徒会・学習他）オリエンテーション

4月11日（金）体育館で各種オリエンテーションを実施しました。このオリエンテーションでは、年度始めに学校生活の決まりや部活動について、新入生を含め全校生徒が確認を行う大切な場として設定しています。

配布された「河頭中学校生徒心得」はよく読んで、何か不明なところがあった場合は、必ず学校に確認してください。

その後の部活動オリエンテーションでは、新入生や転入生を前に、各部がそれぞれ実技を交えた部活動紹介を行いました。キャプテンを中心に、それぞれ部の紹介と日頃の練習の様子を披露しました。新入生の皆さんがたくさん入部してくれることを期待しています。



5月

の主な行事



河頭中マスコット
「ゆめは」

- 7日（水）2・3年実力テスト①～⑤ 欠時⑥
- 8日（木）歯科検診（全学年）⑤
- 10日（土）土曜授業
- 11日（土）
- 13日（火）3年職場体験学習（～15日）
- 16日（金）夢南風（3年）②③④
- 19日（月）欠時⑥
- 20日（火）全校朝会・中体連推戴式
- 21日（水）B校時，教育相談，欠時⑥
- 22日（木）B校時，教育相談，欠時⑥
- 23日（金）生徒総会⑤⑥
- 26日（月）B校時，教育相談，欠時⑥
- 30日（金）3年上級学校ガイダンス⑤⑥



親しき仲にも礼節をもって…

人は、自分では気付かないうちに、相手に不快な思いをさせていることがあります。その1つが会話の中で思わず出てしまう口癖です。例えば「要するに」という言葉は、一般的には話す側が要点を強調するときや相手に理解しやすく説明するために使います。しかし、話を聞いている相手の側からすると、自分は一生懸命説明しているのに、勝手に話の内容をまとめられた、会話を遮られたと感じる場合もあります。

また、「でも」、「いや」等から始まる否定的な言葉にも注意が必要です。会話の最中に「いや、それは〇〇だから…」、「でも…」と相手の言葉を否定するつもりがないのに、何気なく言葉にしてしまう人もいます。また、間違いを起こした後の言い訳もそうです。これから先、どれだけ身近な人であっても、相手の立場になって、不快感を与えないような言葉を選んで話をすることは、とても大切なことだといえます。

今週、4月21日（月）～4月25日（金）は「いじめ問題を考える週間」でした。生徒のみなさんも先生方も、お互いを尊重し合いながら、安心して気持ちよく学校生活を送れるようにしていきたいものです。